

科目名	ソーシャルワーク演習Ⅱ	授業コード	121677A101	単位数	1単位
担当者(所属)	川崎 順子(福・福)、日田 剛(福・福)	時間数	30	AL科目	○
配当学科(学年)	臨床福祉学科・スポーツ健康福祉学科・臨床心理学科(2年)	必修・選択	選択		
開講学期	2022年度後期	授業形態	演習		
授業の概要・一般目標(GIO)	<p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士・精神保健福祉士に求められるソーシャルワークの知識と技術について、実践的に習得するDP(3)。 専門援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。 ソーシャルワーク演習Ⅱでは、具体的な相談援助場面及び相談援助過程を想定した実技指導(ロールプレイ)を中心とする演習形態により行う。 CP2(11) *木城町との連携推進事業に伴う実践も行うDP(1)(2)(3)。 また、ソーシャルワーク実習指導Ⅰと連動させながら、実習準備に向けて必要な知識・技術を習得する。</p>				
到達目標(SBOs)	<p>1) ソーシャルワークに係る基本姿勢・基本原則について説明できる。 2) 基本的なソーシャルワークの展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 3) 総合的かつ包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発に係る具体的な相談援助について説明でき、体験的に理解する。 4) ソーシャルワーク実習における課題を明確にして、実習に臨む準備ができる。</p>				
実務経験のある教員による教育	<p>科目担当(川崎・日田)は、いずれも相談援助の実践現場(医療や福祉)5年以上の経験に基づき、相談援助の過程を理解し、実践力を修得することを目的として授業を行う。</p>				
評価方法	<p>授業中における演習実施中の態度50%、レポート課題などを50%とし、統合的に評価する。</p>				
準備学習・履修上の注意等	<p>社会福祉士・精神保健福祉士資格取得予定者は履修すること 履修を可能とする関連科目の履修条件が設定されているため、該当科目を確認すること 演習授業では、自ら積極的に発言・行動し、メンバーの一人としての責任を自覚した行動をすること。 授業前後に関係する項目のトピックを予習する。方法は 図書館のジャーナル、福祉新聞、一般の全国紙などを用いる。一コマにつき4時間程度の予習復習をすること。</p>				
オフィスアワー	<p>各教員のオフィスアワーに准ずる。講義前後の可能な時間(非常勤講師)</p>				

授 業 計 画					
回数	SBOs No.	授業内容	授業方法	担 当	
1	1)	【オリエンテーション「演習」のねらいと進め方について】 演習メンバーのグルーピングを行い演習のねらいと進め方を理解する。	演習	全員	
2	1)	相談援助場面における援助者としての基本姿勢・基本原則を理解する。	演習	全員	
3	1)	相談援助場面における援助者としての基本姿勢・基本原則を理解する。	演習	全員	
4	1)2)	相談援助の基本的展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 インタビュー・アセスメントの方法	演習	全員	
5	1)2)	相談援助の基本的展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 プランニング	演習	全員	
6	1)2)	相談援助の基本的展開プロセスが説明でき、体験的に理解する。 支援の実施・モニタリング効果測定・終結とアフターケア	演習	全員	
7	3)	総合的かつ包括的な相談援助演習① アウトリーチとニーズ把握方法を理解する。	演習	全員	
8	3)	総合的かつ包括的な相談援助演習② 事例を通してチームアプローチによる援助方法のあり方を理解する。	演習	全員	
9	3)	総合的かつ包括的な相談援助演習③ 事例を通してネットワーキングによる支援のあり方を理解する	演習	全員	
10	3)	総合的かつ包括的な相談援助演習④ 事例を通して社会資源の活用・調整・開発の方法を理解する。	演習	全員	
11	3)	地域を基盤と相談援助演習① 地域住民に対するアウトリーチの重要性を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員	
12	3)	地域を基盤とした相談援助演習② 地域福祉推進に係る住民参加と組織化活動の必要性を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員	
13	3)	地域を基盤とした相談援助演習③ 社会資源の把握・活用する方法を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員	
14	3)	地域を基盤とした相談援助演習④ 地域福祉計画の推進状況と施策の展開を理解する。《木城町連携事業》	演習	全員	
15	1)2)3)	【授業のまとめと振り返り】 グループを評価し後期演習を振り返る。	演習	全員	

教科書(著者名) 出版社名【ISBN】
講義時に配布するプリントなどを使用する。
参考書(著者名) 出版社名【ISBN】
講義時に配布するプリントなどを使用する。